

# 第1回抗炎症分子に関する国際会議：開発と今後の展望

パリ抗炎症薬 2005

2005年10月6、7日

パスツール研究所 - パリ

## プログラム

10月6日 1日目

**8:30 挨拶**

**9:00 抗炎症薬の経済的影響**

- フランス、ヨーロッパ、そして世界における抗炎症薬のマーケットシェア
- 最も使われている抗炎症薬とその病理学
- 2004年のCoxibクラスの2つの抗炎症薬の問題が経済にどんな影響を与えたか
- 抗炎症分子のマーケットの最新傾向

(イギリス、ロンドン、IMSヘルス、カティア・ムシツ)

### セッション1：抗炎症薬の作用メカニズム

**9:45 炎症と抗炎症薬の概略**

歴史：ヤナギの樹皮から現在まで

抗炎症薬の種類

- 標準的抗炎症薬：コルチステロイド、非ステロイド抗炎症薬(NSAIDs)、(酵素)シクロオキシナーゼ2の阻害剤(COX2)
- 新興抗炎症薬：COX/リポキシナーゼの阻害剤、一酸化窒素提供非ステロイド抗炎症薬、炎症反応の特別要因に対する抗体...

現在までの公衆衛生学における抗炎症薬の影響

(イギリス、ロンドン、ウィリアムハーヴィー研究所、ロデリック・フラワー教授)

**10:30 休憩**

**11:00 合成抗炎症薬の作用のメカニズム**

エコサノイドの合成法の抑制: COX1 と COX2 の抑制、ホスホリパーゼ A2 の阻害、リポキシン(LXs)合成の阻害

独立 COX のメカニズム：PPARs の阻害と活性化 NFκB の BCL-XL の遺伝子阻害

(フランス、ル・クレムリン・ピセトル、ピセトル病院泌尿器科、パスカル・エシュベ  
ッジ教授)

### 11:45 リウマチ性関節炎(AR)治療の最新進歩

AR の紹介と病理学

現在における抗炎症薬による治療方法

- 非ステロイド抗炎症薬と COX2 阻害抗炎症薬
- 抗リウマチ薬(DMARDs)を制限する典型的な疾病：グルココルチコイド、ス  
ファサラジン...
- 生物学的 DMARDs：抗 TNF 療法、抗 IL1 療法(IL1 レセプター拮抗剤)...

サイトカイン阻害剤と遺伝薬理学への反応における異質性

新しい治療方法とは？

- メタロプロテイナーゼ基質(MMPs)阻害剤
- インターロイキン転換酵素(ICE)阻害剤
- キナーゼ阻害剤：p38MAPK、C-jun N-terminal キナーゼ
- 新しい炎症のサイトカインの阻害剤と可能なターゲットへ

(フランス、リヨン、リヨン大学、ピエール・ミヨセック教授)

### 12:30 昼食

#### セッション2：抗炎症薬と主な炎症性疾患

### 14:00 生物学的抗炎症薬の作用のメカニズム

サイトカインや炎症に関わる他の要因に対する抗体

センスオリゴヌクレオチドとアンチセンス、ARN 干渉因子(ARNi)

(フランス、モンペリエ、ラペイロニ病院、免疫リウマチ科、ジャック・モレル教授)

### 14:45 腸炎症治療の最新進歩

腸炎症の紹介と病理学：クローン病、潰瘍大腸...

現在における抗炎症薬による治療方法

- 抗 TNF 療法
- 抗インテグリン療法

発展中の療法とは？

- アポトーシスの帰納に基づく療法：抗体抗 IL-12
- 炎症部位における IL-12 または TGF の放出
- ドメイン2 オリゴマー形成ヌクレオチド(NOD2)は新たなターゲットへ？

(オランダ、アムステルダム、Vrije University メディカルセンター、免疫遺伝学科、

ゲルド・ブーマ教授)

**15:30 休憩**

**16:00 気管支炎治療の最新進歩**

気管支炎の紹介と病理学：喘息、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)...

現在における抗炎症薬による治療方法

- 糖質コルチコイドに基づく療法
- 抗ロイコトリエンと 5-L0 の阻害剤
- 抗サイトカインと抗ケモカイン療法

治療法の展望

- グルココルチコイドの新世代
- PPARs の阻害と活性化
- 細胞融合分子の遮断
- アンチセンス法：呼吸式のアンチセンスオリゴヌクレオチド

(イギリス、ロンドン、ロンドンチェスト病院、ニール・バーンズ教授)

**16:45 心臓血管炎症治療の最新進歩**

心臓血管炎症の紹介と病理学：アテローム性動脈硬化病、冠状動脈病...

現在における抗炎症薬による治療方法

新療法の開拓経路は？

- PPARs の阻害と活性化
- LXRs の作用薬
- MMPs の阻害剤
- 細胞融合分子の遮断

(フランス、リール、リール・パスツール研究所、ムスタファ・ルイーズ教授)

**17:30 1日目終了**

10月7日 2日目

**9:00 患者に危険を伴うと思われる2つの抗炎症薬：論争、戦略、そして結果**

背景

VIOXX と Celebrex の危険性を測るのにどんな基準が使われたか？

発売前に問題を見抜けなかったのはなぜか？

2つの薬の概略：発売前のマーケットシェア、論争後の製薬会社が被る損害  
利潤とリスクの割合

市場競争に耐えられ、かつ安全な薬をどう生産するか？

(フランス、パリ、AFSSAPS、ジャン＝ユグ・トルーヴァン教授)

#### 9:45 抗炎症薬の副作用

消化器への影響

肝臓への影響

心臓血管に対する COX2 阻害剤

抗炎症薬の副作用を減らすための戦略とは？

(カナダ、アルバータ、カルガリー大学、ジョン・ウォラス教授)

#### 10:30 休憩

#### 11:00 抗炎症薬の有効性の判断方法とは？

現在ある生体外、生体内実験のモデルとは？

それらの限界と弱点

現時点で最も有効的なモデルとは？

新しいモデルは開発されているのか？

(フランス、カン大学、ジャン＝ピエール・ピュジョル教授)

### セッション3：抗炎症治療における開発と今後の展望

#### 11:45 酸化ストレスと炎症：抗酸化分子の抗炎症薬としての役割

抗酸化作用のメカニズム：NFκB の阻害、炎症サイトカインの発現の減少、細胞  
レドックス状態の回復

抗酸化分子の抗炎症薬としての可能な役割：スーパーオキシドジスムターゼ  
(SOD)、ポリフェノールの例

(フランス、パリ、SFA 会長、マーヴィン・イデアス教授)

#### 12:05 炎症が癌を招く場合

炎症と癌との相互関係

IKK NFκB システムと TLRs の役割

これらの分子に関わる新たな治療法の展望

(ベルギー、リエージュ、リエージュ大学、アレン・シャリオット教授)

#### 12:30 昼食

#### 14:00 抗炎症薬と神経変性症

炎症性神経変性症の紹介と病理学：アルツハイマー病、多数硬化症...

この病理学に利用可能な治療法

-抗インテグリン療法

-NSAIDs

(フィンランド、クオピオ、クオピオ大学、AI Virtanen 分子科学研究所、ヤリ・コイスチナホ教授)

#### 14:20 抗炎症薬と皮膚疾患

炎症性皮膚疾患の紹介と病理学：乾癬、乾癬性関節炎...

この病理学に利用可能な治療法

抗サイトカイン療法：IL-1、IL-1R、TNF、IL-23、IFN $\gamma$ ...

(イギリス、マンチェスター、マンチェスター大学、クリストファー・グリフィス教授)

#### 14:40 抗炎症薬と獣医学

獣医学における市場

家畜への抗炎症薬の使用を必要とする主な病気、人間の薬との違い：犬、猫、馬、牛

獣医学の分野で使われている製品

規制の問題

(フランス、マニー・ベルノワ、ヴェトキノル、ファボリス・トゥロン教授)

#### 15:00 自然の抗炎症薬：近年の発展

炎症性疾患を治す最も見込みのある製品は？臨床的証拠

自然の抗炎症薬の作用のメカニズムは？トリテルペノイドの例

3つの分子の展望は？

(ドイツ、ウルム、ウルム大学、トーマス・シュミット教授)

#### 15:40 休憩

#### 16:10 自然の抗炎症原料の役割と効果

ウコン、デビルズ・クロウ、キャッツ・クロウ...

緑茶抽出物

フェノール酸：フェルラ酸、没食子酸、カフェ酸

脂肪酸：オメガ 3、オメガ 6  
(フランス、パリ、SFA、エリック・マルチネ教授)

#### **セッション4：抗炎症の分野における最新の製薬学的展望**

##### **16:40 抗炎症薬の分野における最新の発展は何か：製薬会社による紹介(10分間)**

-低用量アンチセンスのデリバリーシステムと Smarticles®ベクターの使用による抗炎症の影響

(Novosom AG 社、シュテファン・パンツナー氏)

-シグナリング・パスウェイと抗炎症薬の将来

(セルジーン社、アラン・ルイス氏)

##### **17:30 円卓会議：将来の抗炎症薬、架空か現実か？(科学委員会も参加)**

理想的な抗炎症薬がもつべき特徴は？

炎症抑制のために最も期待できる道は？

抗炎症薬によって治療できるようになるかもしれない他の新しい病理学

(ピエール・ミオセック、ミシェル・シグナルド、ジョン・ウォレス、マーヴィン・イデアス、ヤリ・コイスチナホ、ロッド・フラワー、パスカル・エシュウエッジ、トーマス・シュミット、ファボリス・トゥロソン、ベルナルド・ジャック、ジャン＝ピエールピュジョイ、ゲルド・ボウマ、ムスタファ・ルイス、クリストファー・グリフス、ニール・バーズ、アラン・チャリオット、以下敬称略)

#### **抗炎症薬 2005 イノベーション賞**

科学委員会が最も革新的なプロジェクトに授与する(発表はスピーチまたはポスターで)